

6農総試第45-7号
令和6年10月4日

関係各位

愛知県農業総合試験場長
(公印省略)

病害虫発生予察情報について(送付)

このことについて、下記のとおり発表しましたので、参考にしてください。

記

令和6年度病害虫発生予報第7号(10月)
令和6年度病害虫発生予察注意報第9号
令和6年度病害虫発生予察注意報第10号

担当 環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-41-9513
ファックス 0561-63-7820

令和6年度病害虫発生予報第7号(10月)

令和6年10月4日
愛知県

普通作物

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ダイズ	吸実性カメムシ類	平年並	県全域	9月下旬の発生量はやや少ない 9月下旬の水田におけるミナミアオカメムシの発生量はやや少ない 10月の気温は高い	- - +

・留意事項

ハスモンヨトウの発生がダイズにおいて多い状況です。詳細は、本日発表の「令和6年度病害虫発生予察注意報第10号」を参照してください。また、西尾市のダイズほ場に設置したフェロモントラップにおいて、シロイチモジヨトウの誘殺数がやや多い状況です。詳細は、本日発表の「令和6年度病害虫発生予察注意報第9号」を参照してください。

イネ白葉枯病の病原菌は、被害わらやもみで越冬し、次作の発生源となります。また、ニカメイガや、イネ縞葉枯病を媒介するヒメトビウンカは、水田畦畔の雑草や水稻の刈り株等で越冬します。越冬量を減らすため、水稻の収穫後の耕うんを始めとする秋期管理を実施しましょう。詳細は、本日発表の「水稻の秋期管理情報第1号」を参照してください。

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナシ	黒星病	平年並	県全域	9月下旬の発生量はやや少ない 10月の降水量は平年並か多い	－ ±～＋
カキ	炭疽病	平年並	県全域	9月下旬の発生量はやや少ない 10月の降水量は平年並か多い	－ ±～＋
カキ ウンシュ ウミカン	カメムシ類	多い	県全域	予察灯における誘殺数は多い フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い 9月下旬のカキにおける被害果率は高い 10月の気温は高い	＋ ＋ ＋ ＋

・防除対策

〔果樹共通・カメムシ類〕

本日発表の「果樹カメムシ類情報第4号（ナシ・カキ・カンキツ）」を参照してください。

・留意事項

ブドウべと病について9月下旬の発病葉率は、平年並の状況でしたが、多発しているほ場もみられます。次作への伝染源を減らすため、落葉をほ場外に持ち出すなど適切に処分しましょう。

ナシ黒星病が多発しているほ場では、次作への伝染源を減らすため、落葉をほ場外に持ち出すなど適切に処分しましょう。

モモせん孔細菌病の発病葉が目立つほ場があります。次作への伝染源を減らすため、秋期防除を実施しましょう。

ほ場でハスモンヨトウの被害葉が目立ちます。本日発表の「令和6年度病害虫発生予察注意報第10号」を参照してください。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ハクサイ	べと病	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の降水量は平年並か多い	± ±～＋
	アブラムシ類	やや少ない	県全域	9月下旬の発生量はやや少ない	－
キャベツ	黒腐病	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の降水量は平年並か多い	± ±～＋
	オオタバコガ	多い	県全域	9月下旬の発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い 10月の気温は高い	＋ ＋ ＋

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キャベツ	シロイチモジ ヨトウ	多い	県全域	9月下旬の発生量が多い フェロモントラップにおける誘殺数は多い 10月の気温は高い	＋ ＋ ＋
ハクサイ ・キャベツ	コナガ	平年並	県全域	9月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 10月の気温は高い	－ ± ＋
	ハイマダラノ メイガ	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は高い	± ＋
トマト (施設)	葉かび病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	すすかび病	やや少ない	県全域	9月下旬の発生量はやや少ない	－
	黄化葉巻病	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は高い	± ＋
	コナジラミ類	やや多い	県全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は高い	± ＋
イチゴ (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	炭疽病	多い	県全域	9月下旬の発生量はやや多い 7月下旬の育苗までの発生量は平年並 10月の気温は高い	＋ ± ＋
	ハダニ類	平年並	県全域	9月下旬の発生量はやや少ない 10月の気温は高い	－ ＋
野菜共通	ハスモンヨトウ	多い	県全域	9月下旬のキャベツにおける発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘殺数は多い 10月の気温は高い	＋ ＋ ＋

・防除対策

〔ハクサイ・ベと病〕

シグナムWDGやランマンフロアブルなどで防除しましょう。

〔ハクサイ、キャベツ・ハイマダラノメイガ〕

成長点部分を食害されると、正常な結球が望めなくなるため、アニキ乳剤やディアナS Cなどで防除しましょう。

〔キャベツ・黒腐病〕

降雨が予想される場合は、降雨前後に予防のために銅剤等を散布しましょう。

〔キャベツ・オオタバコガ〕

本日発表の「オオタバコガ情報第6号」を参照してください。

〔キャベツ・シロイチモジヨトウ〕

本日発表の「令和6年度病害虫発生予察注意報第9号」を参照してください。

〔トマト・黄化葉巻病、コナジラミ類〕

本日発表の「コナジラミ類情報第2号（トマト）」を参照してください。

〔イチゴ・炭疽病〕

発病株や隣接する株は速やかに抜き取って、ほ場外に持ち出し、適切に処分しましょう。

〔野菜共通・ハスモンヨトウ〕

本日発表の「令和6年度病害虫発生予察注意報第10号」を参照してください。

・留意事項

アブラナ科野菜の黒腐病、軟腐病等の細菌性病害は、降水量が多いと発生が増加します。また、植物体の傷は病原菌の侵入口となるので、激しい風雨によって傷ができた場合や、害虫の食害痕が多い場合も発生を助長します。台風等の悪天候が予想される場合は事前に農薬を散布するとともに、水はけの悪いほ場では排水対策をしましょう。

トマトキバガのトマトへの寄生が県内でも確認されました。県内各地のフェロモントラップでの誘殺も続いていることから、発生に注意しましょう。防除対策等は9月9日発表の「令和6年度病害虫発生予察特殊報第2号」を参照してください。

花き

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キク (露地)	ハスモンヨトウ	多い	県全域	野菜類のフェロモントラップにおける誘殺数はやや多い 10月の気温は高い	+
	オオタバコガ	多い	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い 10月の気温は高い	+

・防除対策

[キク (露地) ・ハスモンヨトウ]

本日発表の「令和6年度病害虫発生予察注意報第10号」を参照してください。

[キク (露地) ・オオタバコガ]

本日発表の「オオタバコガ情報第6号」を参照してください。

予察灯、フェロモントラップなどの各種調査データは、ホームページ「あいち病害虫情報」(<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/investigation.html>)を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報 (名古屋地方気象台 10月3日発表)

〈予想される向こう1か月の天候〉

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

週別の気温は、1週目及び2週目は、高い確率80%です。3~4週目は、高い確率60%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

[気温] 低い : 10% 平年並 : 10% 高い : 80%

[降水量] 少ない : 20% 平年並 : 40% 多い : 40%

[日照時間] 少ない : 40% 平年並 : 40% 多い : 20%